

【選手・技術】

1. マンツーマン推進の基準規則との関連

(1) ボールを持っている選手をトラップできる場面【近く J B A ホームページに掲載】

- ① ドリブルが行われている時、またはドリブルが終わった時。
- ② オフボールのプレーヤーに向かってのパスが空中にあるときにトラップできる位置にディフェンスプレーヤーが動いた時。
- ③ 移動が容易に行える距離にある時。(2～3 m)

以前は口頭での説明が多かったが、明確に補足等で文章化

(2) トラップの定義

ボールをスティールするためのディフェンス。オフenseとの距離は離れない。

(3) トラップ(終息)後のケース

マンツーマンディフェンスのためのマッチアップを明確になってないチームが見受けられた。

(4) マッチアップのオフenseが動かないケース

- ① ワンパスアウェイ(2 線)やツーパスアウェイ(3 線)のディフェンスが、ゾーンディフェンスのように見える時もあるが、ディフェンス側に問題はなく、むしろオフense側の問題が見受けられた。
- ② アイソレーションオフense時等は、基準規則に則り、絞ってディフェンスしても良い。むしろ、ミニバスケットボールの精神に反しているケースがほとんどである。

(5) マッチアップを見ないケース

ワンパスアウェイとツーパスアウェイの時、ボール中心は構わないが、ボール ONLY となっているケースが多く見受けられた。

(6) スローイン時のボールマンディフェンスの視野

以前に比べオフenseに背を向けたりして、マークマンを見ないプレーヤーは講習会等の指導の徹底のお陰で激減した。

(7) オールコートでのディフェンスの対応

- ① ヘルプサイドのディフェンスは、距離に於ける規定はないが、ミドルラインとの位置関係は、基準規則通り。
- ② ワンパスアウェイ・ツーパスアウェイにおけるディフェンスのボール ONLY はゾーンディフェンスであることの確認。

(8) 即赤旗のケース(得点差・残り時間を考慮に入れて。)

- ① 明らかなゾーンプレスが展開された瞬間。
- ② スローイン時等、オフボールのディフェンスに対する数的優位な守り方があった時。

(9) コミッショナーのポジション

- ① コミッショナー席は、T O 側と逆サイド側と一長一短がある。T O 席側のときは、T O の頭上で振るなど大きくわかりやすくすると良い。T O 席と逆側の場合は、タイムアウト時(タイムアウトの時間は保障してあげる)など有効に活用しベンチと連携をとると良い。
- ② コミッショナーとベンチとのコミュニケーションは、上手に取れてきている現状が多くなってきたものの、態度の良くないベンチに対しては、審判とも対応しながら、毅然たる姿勢で臨む方向で。

- ③ライセンスを設ける・審判同様ワッペンをつける、等の意見はあったが、問題点も多く、実現性は低い。
- ④ベンチとのコミュニケーションは努めはするが、判定がおろそかになったり、ゲームの流れ・進行を、大きく妨げたりしないよう工夫する。
- ⑤コミッショナーの人数は、一長一短を考えながら対応。2人で行う場合は、どちらか1人が黄色旗と赤旗を持つ。
- ⑥審判はマンツーマンディフェンスの判定はしませんので、上手にコミュニケーションをとると良い。時計が止まっている時に、審判が赤旗に気がつかない場合は、TOと速やかに連携しブザー等で審判に知らせる。

(10) コミッショナーの運営面

- ①黄色旗でプレーヤーもコーチも気付かずに、局面が変わった時は、次の同じ場面で、黄色をすぐ振り出し、赤のタイミングを計る。黄色旗を振った後、赤旗までの間、該当ベンチを指し示す。そして改善されなければ、赤旗という確認を数多くした。
- ②1度テクニカルファウルを取られたら(マンツーマン関係で)、次に黄色旗→赤旗となった場合は、警告でなくテクニカルファウルとなることを、理解していない方も若干いたので説明をした。
- ③チェック表の活用について。
 - ア)黄色旗で終わった場合は、チェック表への記入は必要ない。
 - イ)赤旗の場合は、違反内容に記入。特記事項がなければ、競技会主催者に提出しなくても良い。また、チェック項目を記入するあまり、判定がおろそかにならない様に注意する。
 - ウ)特記事項があった場合は、競技会主催者に連絡する。その後主催者は対応をする。
 - エ)チェック表はあくまで補助簿として用い、判定が優先。赤旗が特記事項に該当するかどうかは、慎重に判断する。
- ④コミッショナーの旗について

今回の改正点は上部の四角で囲った部分のみです。
それ以外の部分は変わったところはありませんが、熟読していただきマンツーマンディフェンスやそれに伴うコミッショナーについて理解を深めていただくようお願いいたします。